第5回 桐生市学校規模等適正化清流中学校区検討委員会 議事録

○日 時 令和7年7月7日(月) 午後2時～午後3時10分

○場 所 桐生市立東公民館 2階 講堂

○出席者

【桐生市学校規模等適正化清流中学校区検討委員会】15名

委員長	朝倉 富美夫
副委員長	東海 藍
委員	毒島 嘉寛
委員	吉田 知恵子
委員	杉原 真一
委員	亀山 貴史
委員	林 進
委員	二渡 武雄
委員	瀧上 昭治
委員	大澤 尊光
委員	藤本 武志
委員	竹市 富夫
委員	石島 保
委員	臼井 一子
委員	金子 公江

【桐生市教育委員会】10名

《事務局》

教育部長	森 広一
教育部参事	渡邊 真宏
教育部総務課長	峯岸 孝徳
教育部学校教育課長	須藤 英隆
教育部教育環境課長	糸井 広江
教育部教育環境課教育未来係長	千葉 敦弘
教育部教育環境課教育未来係	新井 広明
教育部教育環境課教育未来係	小池 正文
教育部教育環境課教育未来係	若井 寿樹
教育部教育環境課教育未来係	大澤 豊

【傍聴者】 1名

【報道機関】 1社

○議事の概要

1 開 会 [開始：午後 2 時 00 分]

- ・事務局から、過半数以上の委員の出席により、会議が成立することを報告。

2 副委員長の選出

- ・委員長の指名により、副委員長に東海藍委員を選出。

3 委員長あいさつ

4 報告事項

- ・議事進行は、桐生市学校規模等適正化中学校区検討委員会及び地域協議会設置要綱第 8 条の規定により、委員長が議長を務める。
- ・配布資料の概要について、事務局から説明。
- ・意見や質疑応答は、特になし。

5 議 題

(1) 学校統合に関する検討事項について

- ・資料 18 に基づき、事務局から説明。
- ・意見や質疑応答は、以下のとおり。

発 言 者	発 言 内 容
議長(委員長)	ただいまの説明のとおり、本日は、学校統合に関する検討事項について、委員の皆様にご協力をいただきたいと思います。 はじめに、事務局の説明内容について、ご質問があれば質疑応答を行い、その後、清流中学校区の方向性について、小学校、中学校の順に委員の皆さん全員から、ご意見を聞きたいと思います。 なお、本日、皆様からいただいた意見につきましては、後日開催予定の地域協議会において、清流中学校区の考え方として報告し、四つの中学校区で学校適正配置の方向性を協議することになっています。まず、事務局の説明について、ご質問がございますか。委員、お願いします。
委員	資料 18 の 10 ページにありますように、小学校がケース[3]で統合した場合は、中央中にその時点で通っている西小学校区の生徒はどうなるのでしょうか。ご兄弟がいる可能性もあるので、下の子は清流中に通って、上の子は中央中に通うということが生じる可能性があると思ったのですが、いかがでしょうか。
議長(委員長)	事務局、お願いします。
事務局 (教育環境課長)	ケース[3]の場合、西小の児童は、兄弟で違う中学校に進学するということが生じる可能性があります。
委員	ありがとうございます。
議長(委員長)	他に何かございますか。委員、お願いします。

発言者	発言内容
委員	<p>中学校について、令和18年度以降に、2回目の統合後に使用する校舎は、中央中となっています。理由は、おそらく一番規模が大きいということだと思いますが、中央中は街の中にあります。自転車で通うときに郊外にある方が安全なのか、それとも街の中にある方が安全なのか、道路状況にもよるかと思いますが、自転車で通うにあたって通いやすいということが求められてくると考えます。その場合、ルートの境野方面からでは、清流中に通った方が通いやすいかと思います。</p> <p>2回目の統合校が清流中になった場合、清流中ではどの程度教室数が不足してしまうのかをお聞かせください。</p>
議長(委員長)	事務局、お願いします。
事務局 (教育環境課長)	<p>2回目の統合で、場所が中央中である理由は、委員がおっしゃるとおり、校舎の収容可能学級数が、中央中の方が清流中より多いということです。清流中は、中央中と比較して3学級分少なく、また、2回目の統合は広範囲になるため、通いやすさなども考慮しております。</p>
議長(委員長)	他に何かございますか。委員、お願いします。
委員	<p>中学校の統合で、大前提となることなのでお伺いしたいのですが、一般市民の方から見ると、統合する地域の真ん中が南小であれば南小を使えば良いのではないかという意見も出てくる可能性があると思います。このため、小学校の建物を中学校として使用することの適否などについても、検討委員会を機会にしっかりと説明をしていくことで理解が得やすいのかと思いますが、いかがでしょうか。</p>
議長(委員長)	事務局、お願いします。
事務局 (教育総務課長)	<p>学校の施設に関しまして、小学校と中学校では基準が若干違います。黒板の高さや、教室の広さなどの基準が違いますので、小学校の校舎を中学校の校舎に転用する場合、大規模改修が必要になることが想定されます。したがって、中学校の統合については、中学校の校舎を使用するということが、今回提案させていただいております。</p>
委員	<p>そのようなこともご理解いただいた方が良いでしょう。それともう一つ、学校区で配慮すべき事項で、分散進学を回避するため、学校区の境界付近のお子さんについては、柔軟に対応することが明記されていますが、このような場合、保護者の方からの相談は、学校の先生が対応するのか、教育委員会に相談窓口のような場所を設けて総合的に対応するのでしょうか。</p>
事務局 (学校教育課長)	<p>現在、桐生市内の学校において、学校区の境界付近であるため、どちらかの学校を選べるという区域がございます。例えば、北小学校区と西小学校区では、宮本町の一部地域ではどちらにも通うことができ、学校を選択することができます。こうした事務的な取扱いについては、学校教育課学事係で取り扱っております。</p>
委員	ありがとうございます。
議長(委員長)	委員、お願いします。

発言者	発言内容
委員	5年後、あるいは10年後に、その時に見える未来像で、もう一度統合の見直しをする作業はないのでしょうか。
議長(委員長)	事務局、お願いします。
事務局 (教育環境課長)	1回目の統合を行い、その後の児童生徒数の状況を鑑みながら、2回目の統合に向けた準備をしていきますが、1人の児童生徒が何度も統合を経験することのないように、1回目の統合から一定期間を空けて各ケースを提案させていただいております。2回目の統合の時期については、今後、早まることも想定されますが、1人の児童生徒が何度も統合を経験することのないようにできればと考えております。
議長(委員長)	委員、お願いします。
委員	もう一点です。現在、多くの中学生が自転車で通学しています。この暑期中、汗をかいて坂道を一生懸命に自転車で通学する子供たちがたくさんいます。特に、菱や梅田の山間部の方から通学する子供たちへの気遣いなどについても、一考していただければと思います。よろしくお願いします。
議長(委員長)	事務局への要望ということで、承ります。委員、お願いします。
委員	様々なご質問とそこへのご回答を聞いて、私もだいぶ理解ができてきました。細かい質問ですけれども、10ページの清流中が梅田中と1回目の統合をする時に、多目的教室が確保できない見込みとありますが、多目的教室というのは、どのような目的で使われているのかを改めて伺いたします。
議長(委員長)	事務局、お願いします。
事務局 (学校教育課長)	多目的教室は、例えば、学年の生徒が一堂に会して、活動するような場合等を想像していただければと思います。 また、最近では、小学校や中学校には、学年室という場所があり、例えば、児童生徒が体育の授業の際、着替えをする際に使うような余裕教室と考えていただければと思います。
委員	ありがとうございます。それでは、確保できない場合は、何か代替の案があるのか、確保できなければ仕方ないという考え方かどうか伺ってもよろしいでしょうか。
事務局 (教育総務課長)	統合後に使用する校舎が決まり次第、各校舎の状況に応じて改築や増築などを前向きに検討してまいりたいと考えております。
委員	ありがとうございます。もう一つだけよろしいでしょうか。通学に関して先ほど委員からご質問がありました。私の子供は、清流中学校区で自転車通学をしているのですが、私としては先ほどの委員とは逆の考えを思っています。清流中学校区は結構狭い道が多く、車もスピードを出していて、私としては中央中に通う方が安全だと思う部分もございます。 また、中央中に通うことになった場合、反対車線になるかとは思いますが、朝、高校生などの自転車通学が多いことが心配されます。そういった自転車通学に関する道路整備、環境整備もお考えでしょうか。
議長(委員長)	事務局、お願いします。

発言者	発言内容
事務局 (教育環境課長)	特に小学校区につきましては、年に一度スクールゾーン対策委員会があります。その中で、学校区内の通学路の危険個所について、教育委員会をはじめ土木課や地域づくり課、警察、道路の安全に関する方々が集まり、スクールゾーンを改善していく会議があります。自転車通学についても、スクールゾーン対策委員会で協議し、改善していくことになると考えております。
委員	そのようなことも考えていただいているということで、安心しました。
議長(委員長)	<p>本日の意見なども参考に、事務局で案を練っていただいて、進めていただければありがたいと思います。</p> <p>この後、小学校統合に関わるケース①から③の中から、皆様にケースを選んでいただくこととなりますので、その前に何かご質問があればお願いします。委員、お願いします。</p>
委員	非常に素朴な疑問ですが、参考資料には、東小の校舎の改築年度が昭和45年であると記載されています。これは改築した年で、建てた年ではないということよろしいでしょうか。
議長(委員長)	事務局、お願いします。
事務局 (教育総務課長)	改築した年度です。
委員	建築されたのはいつ頃で、築何年ぐらいですか。
事務局 (教育総務課長)	手元に資料がないため、建築年はお答えできないのですが、耐震補強については実施済みです。
委員	耐震や災害に対する備えも、全て今のままで大丈夫ですか。それとも、統合する前に改修する予定があるのですか。
事務局 (教育総務課長)	桐生市立学校施設の耐震化状況といたしましては、全て耐震基準を満たしています。今後、学校統合が決まりましたら、教室や体育館等は全て必要な整備改修を実施する予定です。
委員	体育館には、スポットクーラー設置の話は聞いていますが、スポットクーラーを設置した場合に、体育館の冷房効率ほどのぐらいアップするのですか。
議長(委員長)	事務局、お願いします。
事務局 (教育総務課長)	今年4月に、桐生市内の全ての小学校の体育館に、スポットクーラーを設置いたしました。最新式の冷風機のようなものであり、建物の中を冷やすものではなく、冷風により、一時的な涼みどころのような効果があります。このため、体育館自体を冷やす機能はございません。今後、統合する学校が決まりましたら、体育館の断熱補強等を行い、空調を整備することを考えてまいります。
議長(委員長)	東小には設置してありますが、説明していただけますか。
委員	夏場は、体育館をプールの準備等で子供たちが使用しておりますので、今のところ使用していません。夏休み前の集会や運動会前の9月にはたくさん使っていくことになると思っており、効果には期待しています。ただ、体育館等はできればエアコンの設置を検討していただければと思います。

発 言 者	発 言 内 容
議長(委員長)	スポットクーラーは大きな機器であり、私も現場で何回か見っていますが、効力は期待できると思います。委員、お願いします。
委員	私は保育園の保護者会長を務めており、東小の体育館も運動会等でお借りしています。地元の菱小のいろいろな行事にも参加させていただいて、菱小の体育館も見せていただいております。正直なところ、東小の体育館はかなり古いと思います。市の今後の方向性として、統合する小学校等を改修するときに、体育館はリフォーム程度なのか、それとも新築になるのか。限られた予算の中で実施すると思いますが、体育館は、地域の避難所としての役割もあり、そのような観点から考えたときに、未来に希望を持てるようになるのか、答えられる範囲で構いませんのでお願いします。
議長(委員長)	事務局、お願いします。
事務局 (教育総務課長)	現在、協議をしていただいている統廃合が決まらなないと、大規模な施設整備を進めることができない状況にあります。統合校が決まりましたら、校舎や体育館などの構造を把握しながら、できるだけ多くの整備を行えるように考えております。
議長(委員長)	他に何かございますか。委員、お願いします。
委員	<p>資料 18 の 15 ページにある放課後児童クラブについて、質問させていただきます。資料の中に、利用者数が記載されていますが、これは通年で利用している児童の数だと思います。夏休みになりますと、さらに増えまして、今年度の北小ですと 50 人ぐらいの予定です。業務用のかなり大きなエアコンをつけていただいても、同じ教室に 30 人ぐらい子供がいますと、19 度に設定しても、30 度を超えてしまう状況です。先ほど、多目的教室で対応できると考えているとおっしゃっていましたが、通常の通年の人数であれば、どうにかなるかもしれないですが、夏休みは、本当に子供が倒れてしまうのではないかなと思うくらい暑いので、子育て支援課に何度もお願いをしています。子育て支援課とも調整していただいて、放課後児童クラブのこともご検討いただくと、働く親としてはありがたいと思います。</p> <p>また、私は北小の放課後児童クラブの保護者会長も務めていますが、担当課が違うので仕方がないと言えば仕方がないのですが、指導員にこういった情報が一切入ってこないことに対して、不安感がとても強く、今回の件も桐生タイムスの報道で知り、指導員が大騒ぎするという状況がありましたので、所管課が違うので難しいのだと思いますが、放課後児童クラブで働く指導員にも情報の共有をお願いできればと思います。</p>
議長(委員長)	区長は、おそらく運営委員長になっていると思います。我々区長も学校に顔を出し、同じような意見を聞いております。改めて、子育て支援課にも今言われた意見も伝えておきますので、ご安心ください。他に何かございますか。委員、お願いします。
委員	スクールバスについてですが、具体的な運用方法など、このようにしていきたいというようなことがあれば教えてください。

発言者	発言内容
議長(委員長)	事務局、お願いします。
事務局 (学校教育課長)	<p>まず、統合校がどこになるかということが、一番大きなポイントになると思います。統合校を中心として、半径2キロの円の外がスクールバスを利用する対象者になると想定しております。スクールバスのルート等につきましては、それぞれの地域で、どこにお子さんのお住まいがあるかということもありますので、バスのルートとしては大きな通りを想定することになるかと思っております。そこまでは、ある程度お子さんに出てきていただいて、バス停となる場所に集合してから乗車し、学校まで通学するような形になると考えております。具体的なルートは、その年度に在籍している子供たちが分からないと、設定の仕様がないと考えております。統合校が決まりましたら、できるだけ早くスクールバスのルートも含めて、安全に子供たちが通学できるような方法等も含めて、計画を立てていければと考えております。</p>
議長(委員長)	ありがとうございます。他にございますか。委員、お願いします。
委員	<p>先ほどから何回かご質問がありましたが、東小に通っている親の立場としては、心配事というか、同じような質問になってしまうのですが、東小はかなり老朽化しています。耐用年数がどれくらいなのかは分からないのですが、窓のサッシなどもかなりガタがきている。あと先ほどもありましたが、体育館もかなり老朽化していると思います。</p> <p>私が東小に入って一番驚いたのが、1年生の教室がある1階の校舎の廊下が屋外にあることです。私はこれに非常にびっくりしました。そういったところで、多分かなり以前にできた学校だと思うので、本当に統合校が東小で大丈夫なのかという思いがあります。その辺は現地等も確認されて、先ほどお話があった大規模改修も考慮した上で、本当に東小で大丈夫なのでしょうか。</p>
議長(委員長)	東小は、令和6年に創立150周年を迎えており、老朽化は致し方ない状況ですので、おそらく大改修を実施すると思います。将来的には、お金をかけてでも進めていかなければならないと思います。事務局、いかがでしょうか。
事務局 (教育総務課長)	そのようなことも踏まえて、改修等を検討してまいりたいと考えております。
委員	そのようなことも考慮していただいた上で、資料のケースを作ったいただき、検討していただいているということですので、ありがとうございます。
議長(委員長)	委員、お願いします。
委員	スクールバスの件ですが、梅田南小はスクールバスを実際に走らせているのですか。
議長(委員長)	事務局、お願いします。
事務局 (学校教育課長)	桐生市の小学校では、4校がスクールバスを利用しております。梅田南小学校も2台のスクールバスを利用しており、子供たちが安全に学校に通っています。

発言者	発言内容
委員	小学生の場合、例えば1年生と6年生では帰宅時刻が変わりますが、そのような配慮というのは、どのようにやっていますか。
議長(委員長)	事務局、お願いします。
事務局 (学校教育課長)	子供たちの下校時刻に合わせて、2便、3便出ているという状況です。
委員	それは保護者がこれに乗りなさいと決めて登録しているのですか。
事務局 (学校教育課長)	朝の通学時に利用するお子さんと、帰りは利用しないというお子さんがいて、家庭によって異なります。放課後に、学童を利用するご家庭は、帰りのバスを利用しません。その年によっても、それぞれバスの利用方法で状況が多少異なっております。
委員	東小を使った場合、相当な数のバスの利用を考えているようではすけれども、その運用というのを考えておかないといけないかと思えます。
事務局 (学校教育課長)	貴重なご意見、ありがとうございます。
議長(委員長)	委員、お願いします。
委員	今どこでも運転手不足だと思いますが、11ページに掲載してあるスクールバスの台数は、ケース①の場合、境野小に統合された場合9台、東小に統合された場合3台、合計12台になります。おそらく他の学校区でも同様に、スクールバスが必要になってくると思いますが、運転手の確保はできるのでしょうか。
議長(委員長)	事務局、お願いします。
事務局 (学校教育課長)	委員のおっしゃるとおり、ドライバー不足を非常に心配しているところです。桐生市では、現在、沼田屋と朝日タクシーの2社に、スクールバスの運行を委託しております。今後、統廃合が進んで、スクールバスの台数が増えたときに、賄い切れるのかということについて、現状では難しいのではないかと考えておりますが、そのような状況になった場合は、他の別の業者や、何らかの方法を考えていく必要があると考えております。できるだけ早い段階から、どのような手段があるのかを探ってまいりたいと考えております。
議長(委員長)	<p>他にございますか。他にないようですので、小学校の方向性について、3つのケースがありますが、挙手をしていただき、確認をしていきたいと思えます。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、小学校について、ケース①は、1回目の統合で、東小・北小・菱小・梅田南小、また、西小・南小・境野小が統合します。ケース②は、1回目の統合で、東小・北小・菱小・梅田南小、また、西小・南小が統合し、境野小は現状のままとなります。ケース③は、1回目の統合で、東小・西小・北小・菱小・梅田南小、また、南小・境野小が統合します。</p> <p>ケース①が良いという方は、挙手をお願いします。次にケース②はいかがでしょうか。次にケース③はいかがでしょうか。ケース③が多いようです。事務局に質問ですが、他の中学校区でケース③はどのような状況でしたか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
事務局 (教育環境課長)	これまでの検討委員会では、中央中学校区で1人いらっしゃいました。
議長(委員長)	<p>続きまして、中学校の方向性について、2つのケースがありますが、挙手をしていただき、確認したいと思います。中学校について、ケース[1]は、1回目の統合で、中央中・境野中、また、清流中・梅田中が統合します。ケース[2]は、1回目の統合で、南小の卒業生のみで構成する中央中と境野中、また、西小の卒業生を含む清流中と梅田中が統合します。</p> <p>ケース[1]が良いという方は、挙手をお願いします。次にケース[2]はいかがでしょうか。ケース[2]が多いようです。</p> <p>それでは、本日、委員の皆様からいただいたご意見をまとめますと、小学校はケース[3]、中学校につきましてはケース[2]ということ、清流中学校区の考え方として、地域協議会で報告したいと思います。</p> <p>本日予定をしておりました議事は、以上になりますので、議長の任を解かせていただきます。皆様、ご協力大変ありがとうございました。</p>

6 その他

7 閉 会 [終了：午後3時10分]